

**全国の小学校高学年・中学生・高校生の子どもの持つ保護者 2,400 名に聞いた
「コロナ禍における子どもの自宅学習に関する意識調査」**

**コロナの影響による自宅学習時間の増加で、ストレスを抱えている子どもが 51.5% !
自宅学習増加による保護者の不安、「自宅だと集中できない」が 66.7% でトップに !**

7 割超が「モチベーションを上げてくれる存在が必要」。専門家からは学習面のサポーターの必要性について指摘も

株式会社個別教育舎(所在地:東京都豊島区、代表取締役社長:紀洲良彦、以下:個別教育舎)では、このたび、全国の小学校高学年・中学生・高校生の子どもの持つ保護者 2,400 名を対象とした「コロナ禍における子どもの自宅学習に関する意識調査」を実施しました。

<調査背景>

新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの学習環境は大きく様変わりしました。昨年 4 月には、学校や学習塾が休校となったほか、生活面でも外出自粛期間が続き、今まで以上に自宅での学習機会が増えたものと考えられます。保護者の方においても、子どもの自宅学習の在り方についてや、子どものストレスについてなど、悩みや不安を抱えているという声も聞かれます。そこで今回、コロナ禍における子どもの自宅学習の現状や課題などについて明らかにすべく、調査を実施しました。主な調査結果は以下の通りです。

＝調査結果トピックス＝

<自宅学習状況・意識について>

■**コロナ禍で自宅での学習時間増が子どもの新たなストレスに！集中力が続かないことがストレスの種。**

- ・コロナ禍以前に比べ、子どもの自宅での学習時間が増加したという方が 35.7%。
- ・51.5%の保護者が、自宅学習時間が増えたことで子どもがストレスを感じていると回答。
- ・子どものストレスの原因だと思う項目のトップは「自宅だと集中力が続かないこと」で 48.9%。

■**自宅学習増加により、保護者の悩みも多様化。一方「コミュニケーションが増えたこと」に充実感も。**

- ・保護者の不安、「自宅だと集中できないこと」が 66.7% でトップに。
- ・中学生の保護者は「親子の衝突」、高校生は「集中力」と「勉強のすすめ方の指導」が課題に。
- ・一方で「子どもとのコミュニケーションが増えた」ことに充実感を感じている保護者が過半数に。

■**これからの子どもの自宅学習には、「モチベーションを上げてくれる存在」が必要！？**

- ・子どもの自宅学習に「モチベーションを上げたり維持してくれる存在」が必要という方が 7 割超。

<通塾やその他の学習手法について>

■**コロナ禍で子どもを通塾させることについて、保護者の本音は「不安」が過半数に。**

学校の学習以外に月 1 万以上かける割合が最も高いのは近畿地方。

- ・コロナ禍での通塾に不安を感じる保護者が 53.6%。エリア別では「東北」と「四国」が高い傾向。
- ・学校外の学習に月 1 万円以上お金をかけている地域、トップは近畿。
北海道と九州・沖縄の高校生の 3 人に 1 人は、学校の学習以外にお金はかけていないことが明らかに。

<オンライン・コーチングについて>

■**4 割強の保護者が利用してみたい「オンライン・コーチング」。**

子どもの自宅学習の意欲を掻き立て・維持してくれそうな理想のコーチ、トップは「松岡修造」さん！

- ・コーチングの認知・利用意向はそれぞれ 4 割強も、そのサービス内容には約半数の保護者が「魅力的」。
- ・生徒と一緒に目標に導いてくれる存在として、松岡修造さんが全世代でトップに。
HIKAKIN さんや中田敦彦さんなど、Youtube で活躍する方も上位にランクイン！

調査結果を受けて：一般社団法人教育デザインラボ 代表理事 石田 勝紀氏のコメント（詳細は次頁）

「家庭は学校ではなく、親は教師ではないため、モチベーションや集中力などの問題に対し全てサポートすることは容易ではありません。子どもには学習面をマネジメントしてくれる専門的サポーターが必要です」

■本件に関するお問い合わせ先■

個別教育舎 PR 事務局 (共同 P R 株式会社内) 担当：辻・広岡

【TEL】03-3571-5193 【FAX】03-3571-5360 【MAIL】nalu-pr@kyodo-pr.co.jp

■調査の概要

調査方法：インターネットによる調査

調査対象：全国の小学校高学年・中学生・高校生の子どもの持つ保護者 2,400 名

※全国 8 エリア（北海道/東北/関東/中部/近畿/中国/四国/九州・沖縄）それぞれで、
子どもが小学校高学年（4 年生以上）100 名/中学生 100 名/高校生 100 名の計 300 名ずつ

調査実施期間：2021 年 04 月 09 日（金）～ 2020 年 04 月 13 日（火）

調査委託先：株式会社マクロミル

「自宅学習において最も効率上がる方法は、学習面をマネジメントしてくれる専門的サポーター」 ～一般社団法人教育デザインラボ 代表理事 石田 勝紀氏コメント

今回の結果から、明らかに家庭に大きなストレスと負担が増えていることが伺えます。特に子どもの勉強に関しては、これまでも問題視されていた「モチベーション」「集中力」「ストレスを抱える」がさらに浮き彫りになっています。家庭は学校ではなく、親は教師ではないため、これらを全てサポートすることは、容易ではありません。

以前より、私は「子どもには学習面をマネジメントしてくれる専門的サポーターが必要」と発信してきました。定期的かつ個別的に進捗をチェックし、メンタルやモチベーションサポート、さらにはその子にあった学習計画の修正を共に考えてくれる存在です。そのような専門的な学習サポートを受けられる環境を整えてあげることが、子どもの自宅学習の効率を最も上げられる方法と言えるでしょう。

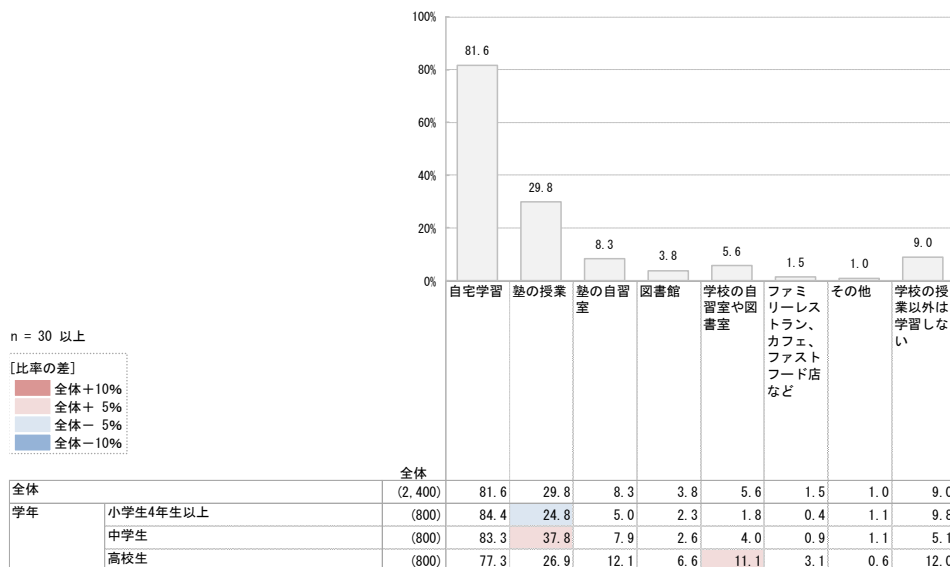


「コロナ禍における子どもの自宅学習に関する意識調査」結果サマリー

【子供の自宅学習状況について】

1-1. 学校の授業を除く学習の場所について

学校の授業を除く子どもの学習の場所について尋ねたところ、81.6%の方が「自宅学習」と回答しました。最も割合の高い小学生で84.4%、最も低い高校生でも77.3%が「自宅学習」を実施していることがわかりました。以下、「塾の授業」が29.8%で続く結果となりました。



(複数回答)

1-2. コロナ禍における自宅での学習時間の変化について

新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅での学習時間に変化があったかを尋ねたところ、「以前もあったが、より増えている」「以前はなかったが、するようになった」という「増加」を上げた方が、35.7%に上る結果となり、コロナ禍で自宅での学習時間が増加傾向にあることがわかりました。

- 以前もあったが、より増えている
- 以前はなかったが、するようになった
- 変わらない
- 以前より減っている
- コロナ禍を機に無くなった
- 以前からその場所で勉強はしない・以前から学校以外での勉強はしない

		全体 (2,400)	30.6	5.1	58.5	(%)
学年	小学生4年生以上 (800)	31.4	4.9	58.3	3.024	
	中学生 (800)	28.4	5.8	59.9	4.011	
	高校生 (800)	32.0	4.8	57.3	3.023	

1-3. 自宅学習の計画について

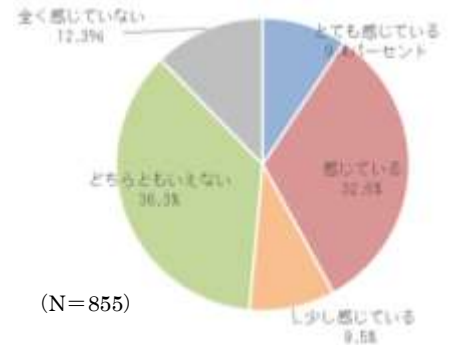
子どもの自宅学習における勉強内容やスケジュールを主に誰が考えて(立てて)いるかを尋ねたところ、小学生は「保護者」と「子ども自身」がおおよそ半々となり、中学・高校と進むにつれて、「子ども自身」が計画を立てていく割合が高くなる結果となりました。

		全体	保護者(あなたや配偶者)	子ども自身	学校	塾	その他
全体		(2,168)	27.4	66.5	1.0	1.0	1.0
学年	小学生4年生以上	(722)	47.7	46.7	1.0	1.0	1.0
	中学生	(750)	24.8	68.5	1.0	1.0	1.0
	高校生	(696)	9.8	84.9	1.0	1.0	1.0

【子供の自宅学習に関する意識について】

2-1. コロナ禍における自宅学習時間増加による子どものストレスについて

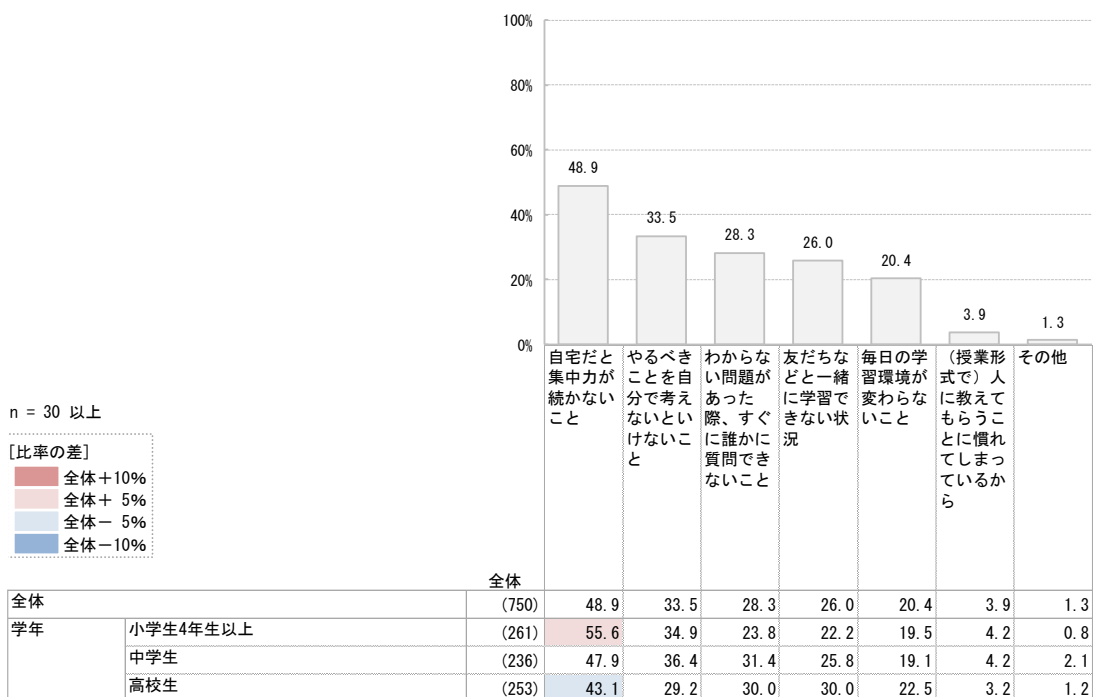
自宅での学習時間が増加したと回答した方を対象に、コロナ禍で自宅での学習時間が増えたことで、おさまはストレスを感じている様子があるかを尋ねたところ、「とても感じている」「感じている」「少し感じている」あわせ51.5%と半数を超える結果となりました。学年別にみると、小学生が最も高い割合でストレスを感じている傾向が見られました。



		全体	とても感じている	感じている	少し感じている	どちらともいえない	全く感じている
全体		(855)	9.4	32.0	9.5	36.3	12.3
学年	小学生4年生以上	(290)	11.0	35.9	11.0	32.1	10.0
	中学生	(272)	9.6	33.5	8.8	34.9	13.2
	高校生	(293)	7.5	28.7	8.5	41.6	13.7

2-2. ストレスの原因について

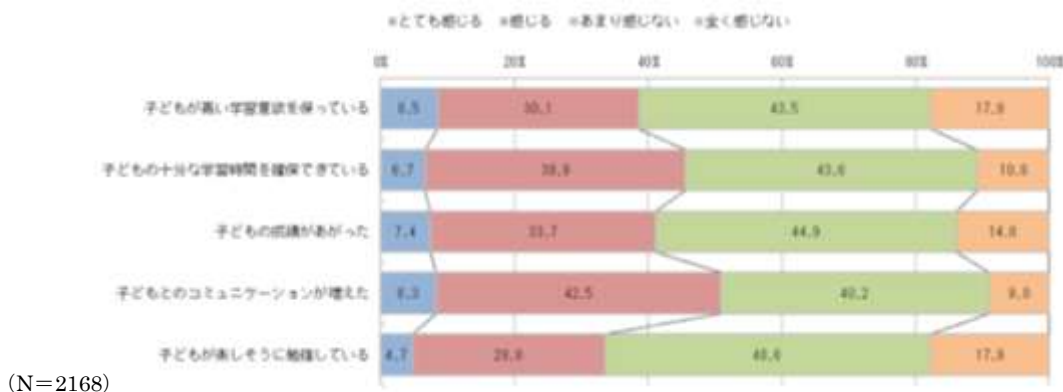
子どもがストレスを感じていると回答した方を対象に、その原因を尋ねたところ、「自宅だと集中力が続かないこと」が48.9%でトップとなりました。特に小学生では、55.6%と特に高い割合となっています。以下、「やるべきことを自分で考えないといけないこと(33.5%)」「わからない問題があった際、すぐに誰かに質問できないこと(28.3%)」と続く結果となりました。



(複数回答)

2-3. 自宅学習の増加に関し「充実している」と感じる点について

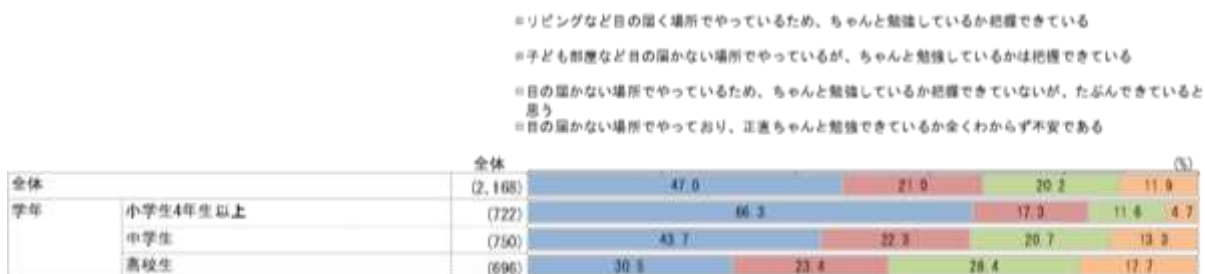
子どもが自宅学習を行っているとは回答した方を対象に、子どもの自宅学習において充実していると感じる点について尋ねたところ、「子どもとのコミュニケーションが増えた」ことに対し充実していると感じている方が 50.8%と半数を超える結果となりました。学年別にみても、全年代で「子どもとのコミュニケーションが増えた」ことがトップとなっています。



学年	項目	とても感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない
小学生	子どもが高い学習意欲を保っている	8.2	27.1	47.5	19.1
	子どもの十分な学習時間を確保できている	6.2	39.8	43.9	10.0
	子どもの成績があがった	6.6	33.8	47.5	12.0
	子どもとのコミュニケーションが増えた	7.8	47.8	38.9	7.5
	子どもが楽しそうに勉強している	5.5	32.6	46.5	15.4
中学生	子どもが高い学習意欲を保っている	8.7	29.3	42.0	20.0
	子どもの十分な学習時間を確保できている	6.9	37.0	43.6	12.1
	子どもの成績があがった	6.5	33.3	43.9	16.3
	子どもとのコミュニケーションが増えた	8.4	40.1	41.2	10.3
	子どもが楽しそうに勉強している	4.1	28.1	48.9	20.9
高校生	子どもが高い学習意欲を保っている	10.8	33.9	40.9	14.4
	子どもの十分な学習時間を確保できている	6.9	38.5	43.4	11.2
	子どもの成績があがった	9.1	34.1	43.4	13.5
	子どもとのコミュニケーションが増えた	8.9	48.4	41.4	9.3
	子どもが楽しそうに勉強している	4.5	26.1	52.8	16.6

2-4. 子どもの自宅学習状況の把握について

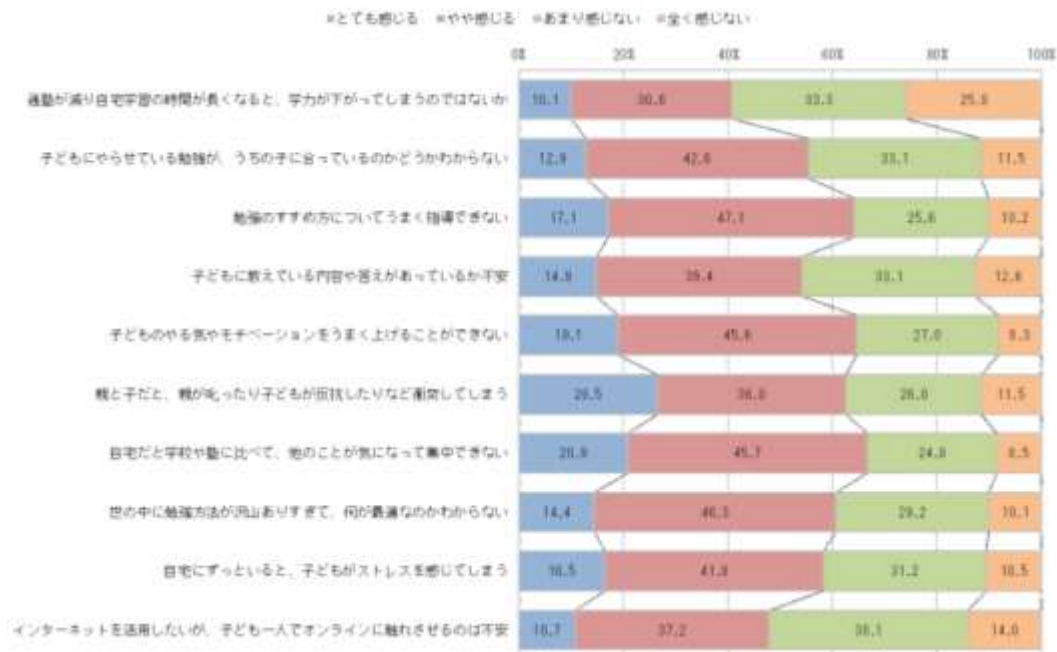
同じく子どもが自宅学習を行っているとは回答した方を対象に、子どもの自宅学習について、「ちゃんと勉強しているかどうか」どの程度把握しているかを尋ねたところ、小学生の保護者は 83.6%が「把握できている」と回答。一方、学年が上がるごとにその割合は下がっていき、高校生では「把握できている」が 53.9%となり、「正直ちゃんと勉強できているか全くわからず不安」という回答も 17.7%に上る結果となりました。



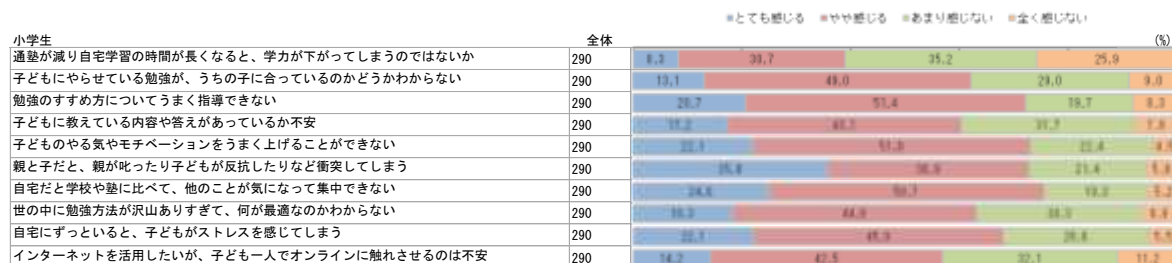
2-5. コロナ禍で子どもの自宅学習時間が増えたことによる保護者の悩み・不安について

自宅での学習時間が増加したと回答した方を対象に、コロナ禍で子どもの自宅学習時間が増えたことによる自身の悩み・不安について尋ねたところ、「自宅だと学校や塾に比べて、他のことが気になって集中できない」が66.7%でトップとなり、以下「子どものやる気やモチベーションをうまく上げることができない(64.7%)」「勉強のすすめ方についてうまく指導できない(64.2%)」も僅差で続く結果に。

学年別で見ると、小学生は「集中できない」が75.5%でトップとなり、次いで「子どものやる気やモチベーションをうまく上げることができない」が73.1%で続く結果に。しかし、中学生になると「親と子ども、親が叱ったり子どもが反抗したりなど衝突してしまう」が67.6%でトップに。高校生では、トップの「集中できない(59.1%)」に次いで、「勉強のすすめ方についてうまく指導できない」が57.7%となるなど、子どもの学年ごとに悩みも違って来る結果が見られました。

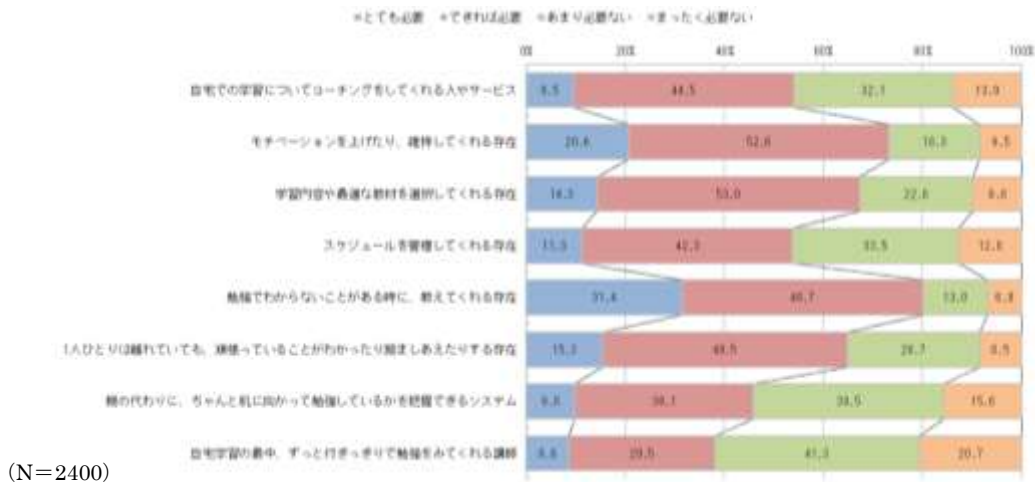


(N=855)



2-6. 子どもの自宅学習に必要な要素について

子どもの自宅学習のために必要だと思うことについて尋ねたところ、もちろんトップは「勉強でわからないことがある時に、教えてくれる存在（80.1%）」となりましたが、次いで「モチベーションを上げたり、維持してくれる存在」が73.3%と高い水準で続くなど、「勉強内容の指導」以外の要素として「モチベーションの向上・維持」が上がってくる結果となりました。学年別にみても、学年に関わらず上記2項目が1位2位で並ぶ結果となっています。



小学生	全体	(%)
自宅での学習についてコーチングをしてくれる人やサービス	800	8.1 48.3 34.8 17.8
モチベーションを上げたり、維持してくれる存在	800	19.9 57.0 16.9 4.3
学習内容や最適な教材を選択してくれる存在	800	15.4 53.2 23.4 3.6
スケジュールを管理してくれる存在	800	11.1 43.8 34.0 19.4
勉強でわからないことがある時に、教えてくれる存在	800	33.8 44.8 12.0 6.8
1人ひとは離れていても、頑張っていることがわかったり励ましあえたりする存在	800	14.4 47.5 30.3 7.9
親の代わりに、ちゃんと机に向かって勉強しているかを把握できるシステム	800	9.9 38.1 38.8 12.3
自宅学習の最中、ずっと付きっきりで勉強をみてる講師	800	9.4 30.9 42.6 17.1

中学生	全体	(%)
自宅での学習についてコーチングをしてくれる人やサービス	800	12.3 44.4 30.5 12.9
モチベーションを上げたり、維持してくれる存在	800	24.2 58.1 17.8 3.8
学習内容や最適な教材を選択してくれる存在	800	16.1 51.0 21.0 8.5
スケジュールを管理してくれる存在	800	13.8 42.1 31.8 12.1
勉強でわからないことがある時に、教えてくれる存在	800	24.1 46.9 17.8 8.1
1人ひとは離れていても、頑張っていることがわかったり励ましあえたりする存在	800	17.4 51.9 22.9 6.8
親の代わりに、ちゃんと机に向かって勉強しているかを把握できるシステム	800	12.3 38.8 38.8 18.6
自宅学習の最中、ずっと付きっきりで勉強をみてる講師	800	9.4 30.9 42.6 17.1

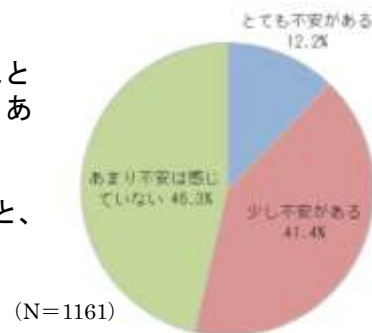
高校生	全体	(%)
自宅での学習についてコーチングをしてくれる人やサービス	800	8.0 43.8 31.0 17.1
モチベーションを上げたり、維持してくれる存在	800	17.8 58.8 18.9 11.8
学習内容や最適な教材を選択してくれる存在	800	10.8 53.3 23.5 12.8
スケジュールを管理してくれる存在	800	8.8 41.1 34.8 15.8
勉強でわからないことがある時に、教えてくれる存在	800	28.4 43.8 18.8 8.1
1人ひとは離れていても、頑張っていることがわかったり励ましあえたりする存在	800	14.0 48.4 26.8 10.8
親の代わりに、ちゃんと机に向かって勉強しているかを把握できるシステム	800	7.8 33.1 40.8 18.8
自宅学習の最中、ずっと付きっきりで勉強をみてる講師	800	7.8 28.8 42.8 20.6

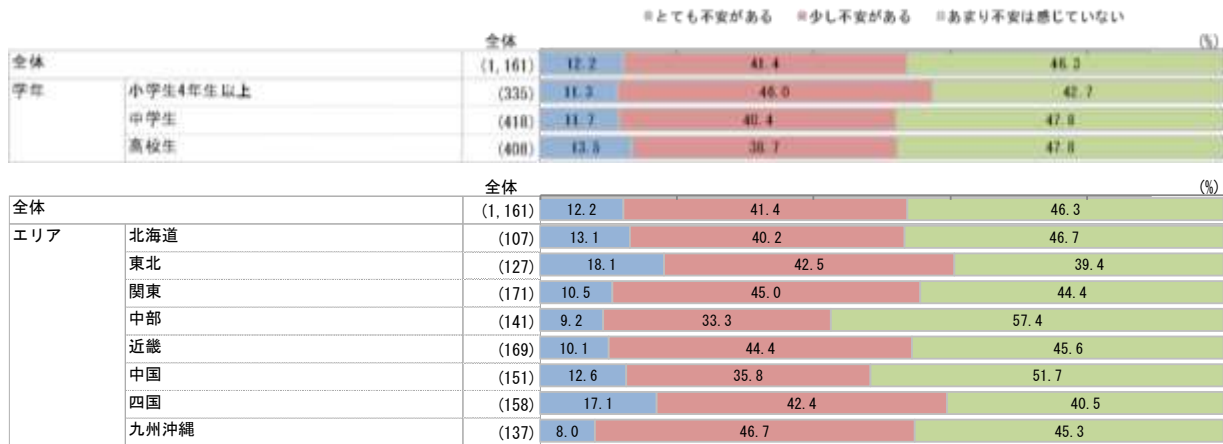
【通塾やその他の学習手法について】

3-1. コロナ禍において子どもを塾に通わせることへの不安について

子どもの学習方法で塾を上げている方を対象に、コロナ禍で通塾させることへの不安について尋ねたところ、「とても不安がある」「少し不安がある」あわせ、53.6%と半数を超える方が不安に思っていることがわかりました。

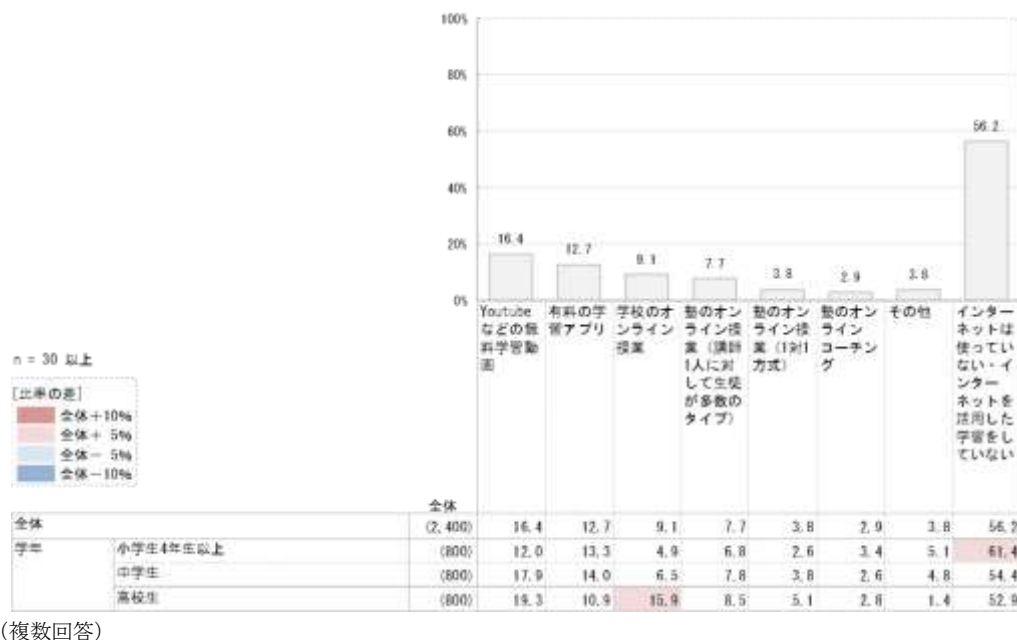
学年別にみると、小学生で「不安」の割合がやや高く、また地域別にみると、「東北」「四国」が他の地域よりも「不安」が高い傾向が見られました。





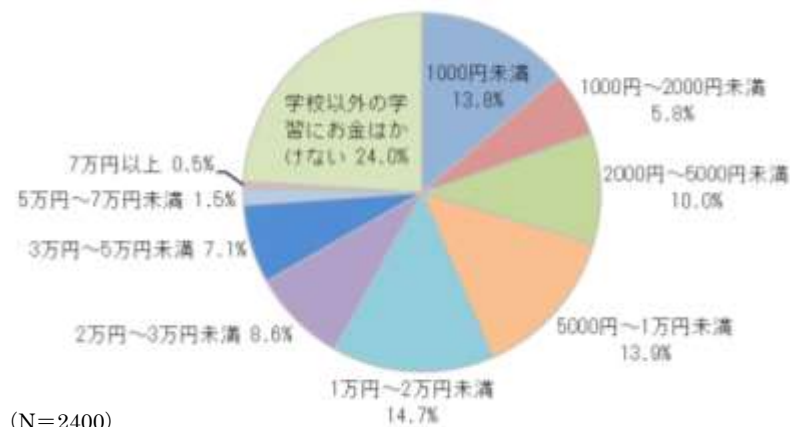
3-2. インターネットを活用した学習方法について

インターネットを活用した学習方法で、子どもが実際に行っているものがあるかを尋ねたところ、43.8%の方が何らかの学習をインターネットを使って行っていると回答。最も多かったのは「Youtube などの無料学習動画」で16.4%となりました。



3-3. 学校以外の勉強にける費用について

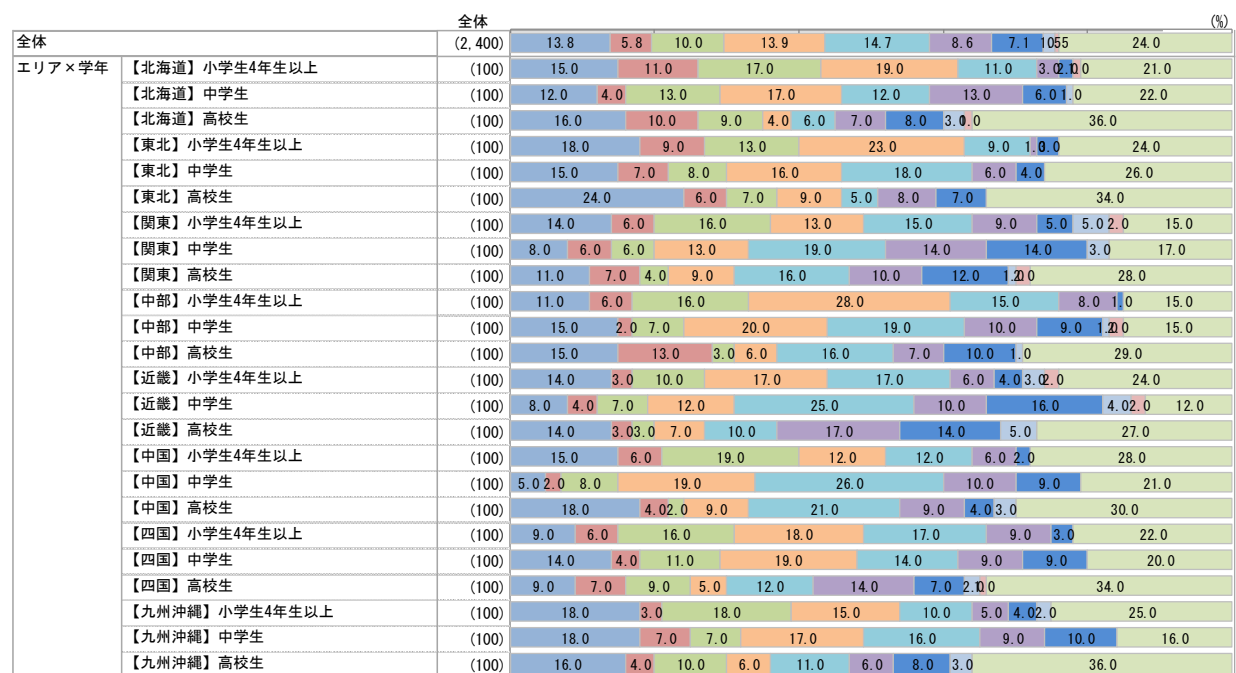
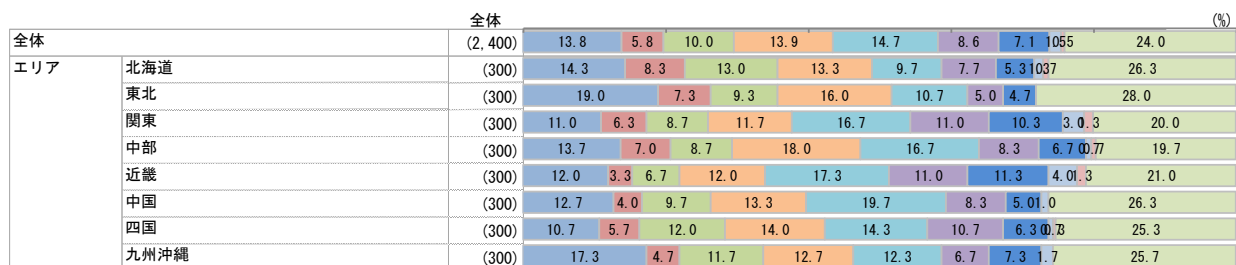
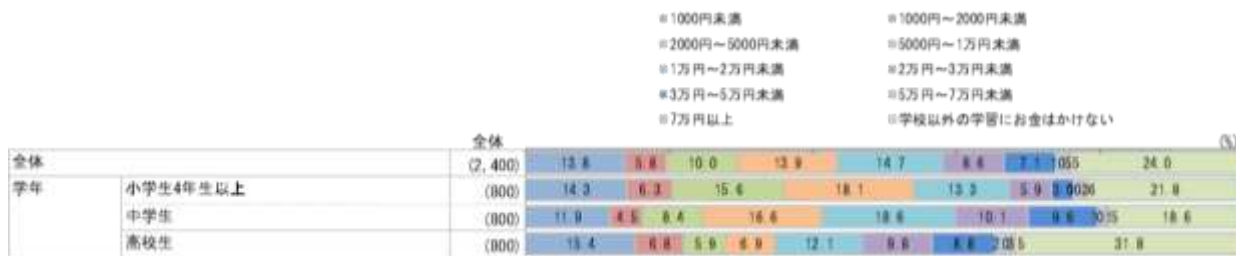
塾や通信教材、学習アプリ、参考書、家庭教師など、学校以外の勉強に、1か月あたりどの程度の費用をかけているかを尋ねたところ、「1万円以上」かけている方の合計が32.5%に。最も回答者が多かったのは、「5000円～1万円未満」で13.9%という結果となりました。



学年別にみると、月1万円以上かけている割合が最も高いのは中学生で40.0%。最も低いのは小学生で24.0%という結果に。

また地域別にみると、月1万円以上かけている割合が最も高いのは近畿で45.0%、次いで関東で42.3%という結果に。最も割合が低かったのは東北で20.3%でした。

さらに、地域×学年でみてみると、北海道と九州・沖縄の高校生は、1/3以上が「学校以外の学習にお金はかけない」ことがわかりました。



【オンライン・コーチングについて】

4-1. コーチングの認知度について

生徒の目標に対して一人ひとりに適切な方法を、生徒とコーチが一緒になって見出し、導いていく「コーチング」という考え方について、知っていたかを尋ねたところ、「よく知っている」「なんとなく知っている」あわせて41.6%となりました。



(N=2400)

4-2. オンライン・コーチングの利用意向について

インターネットを活用し、自宅学習のスケジュールや勉強内容をアドバイスしてくれる「オンライン・コーチング」についてどう思うかを尋ねたところ、「是非利用してみたい」「利用してみたい」あわせて40.6%という結果に。

学年別にみると、中学生が最も利用意向が高い結果となりました。



(N=2400)

		全体	(N)			
		(2,400)	是非利用してみたい	利用してみたい	あまり利用したいと思わない	全く利用したいと思わない
学年	小学生4年生以上	(800)	4.0	37.6	41.4	16.8
	中学生	(800)	9.0	38.0	47.1	15.9
	高校生	(800)	3.4	32.4	44.4	18.5

4-3. オンライン・コーチングの特長の魅力度について

オンライン・コーチングの各特長について、それぞれ魅力的に思うかを尋ねたところ、「オンラインで講師とつながっており、勉強でわからない所があればいつでも相談できる」点を魅力的と回答した方が72.9%に上る結果となりました。以下、「目標やなりたいことが明確な生徒に対して、なるべく最短で到達できるその人にあった勉強方法を一緒に考えてくれる」も72.3%と高い水準で魅力的と捉えられていたほか、ほぼ全ての項目について半数以上の方が「魅力的」と感じていることがわかりました。



(N=2400)

4-3. 理想のコーチについて

お子さまの自宅学習の意欲を掻き立て・維持してくれそうな理想のコーチについて、著名人（タレント・お笑い芸人・スポーツ選手・文化人など）の中から自由に上げてもらったところ、全学年で「松岡修造」さんがトップとなりました。2位にはイチロー選手が続いたほか、東大王、YouTuber、お笑い芸人までバラエティー豊かな顔ぶれとなりました。

順位	名前
1	松岡修造
2	イチロー
3	林修
4	伊沢拓司(東大王)
5	HIKAKIN
6	小島よしお
7	オリエンタルラジオ 中田敦彦
7	ティモンディー 高岸宏行
9	松丸亮吾
10	武井壮
学年別 1位	名前
高校生	松岡修造
中学生	松岡修造
小学生4年生以上	松岡修造

<ご参考>

個別教育舎のオンライン・コーチングサービス「NALU」について

「NALU」は、「自宅での学習の質と量をも高める」オンラインサービスです。“自宅を最強の学び場に”をキーワードに、学習塾業界初となる国際基準のコーチング研修を受けた実績豊富なコーチ陣が徹底的にナビゲートし、学習コーチングを行います。



◇ポイント◇

➤ 3か月で変化を引き出す短期集中プログラム

自宅を最強の学び場にできる“まるで塾にいるような学習環境”を実現します。3つのステップにより、3か月間の短期集中プログラムで学力向上を目指します。

①学習量を増やす ②科目バランスを整える ③勉強のやり方を身に付ける

➤ 週1回のオンライン・コーチング

自分の担当コーチと毎週1回オンライン・コーチングを行います。1週間の学習量・科目バランスについて、意見交換を行い、学習アドバイスをうけることができます。「勉強量アップ」「勉強効率アップ」「やる気アップ」の3つのアップを引き出すコーチングを行い、モチベーションの維持・向上が課題となっている自宅学習を支援します。

➤ 毎日使えるオンライン学習室

NALU 生専用のオンライン学習室は、毎日 23:30 まで使い放題です。人間の集中力の平均値と言われる45分を1コマに設定し、コーチからの声掛けが受けられたり、参加者同士で一緒に学んだりできるなど、自宅学習で陥りがちな「集中できない」を回避する様々な仕掛けが施され、集中力の維持をサポートいたします。

➤ 自宅学習を見える化！学習管理アプリ

NALU 専用チャットでは24時間質問に対応しています。また、月1回のオンラインイベント実施や、生徒同士で頑張りをたたえる交流の場、担当コーチから励ましのメッセージなど、自宅にいても「一人で孤独に」ではなく「みんなと一緒に」、前向きに学習を進められます。

■引用・転載時のクレジット表記のお願い

本リリースの引用・転載は、必ず「個別教育舎調べ」とクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。